

平成 30 年度 関西健康科学専門学校事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(担当者：校長 住田行志)

●在籍者数（令和元年 5 月 1 日現在）

(単位：名)

学科	スポーツ医療柔道整復学科		計
	I 部	II 部	
入学定員	60	60	120
収容定員	210	150	360
計	174	68	242

I. H30 年度の事業概要

事業計画項目		達成度
1	国家試験合格率 100%	93.3% (56 名/60 名) ※全国平均は 86.1%
2	退学率 4%以下	6.8% (17 名/249 名)

II. H30 年度の取り組み

1. H31 年度入学生募集活動 入試状況

学科・コース名	受験者数	入学者数	H31 年度生目標数	目標との差
	H31 年度	H31 年度		
I 部	62	61	60 人	1
II 部	15	14	60 人	-46

<募集活動における課題と改善策>

- (1) 高校新卒生の早期獲得
 高校 2 年生向けイベントの実施 (6 月 2 日、3 月 28 日)
 高校訪問の強化 (専任担当者、教職員による広報の育成)
- (2) 夜間部 (II 部) 定員の充足
 教育訓練給付金、ワーキングスタディ制度等働きながら学べる点を強調
 兵庫県整骨院訪問 (2201 件)
- (3) 来校リピート率の向上
 オープンキャンパスの多様化 (女子学生のためのオープンキャンパス、高校 2 年生向け職業体験)

2. 中途退学者数・防止策

学年	H30 年度		原因
	退学者数	退学率	
1	6 人	8.3%	学力不足による進路変更 4 名、経済的状況 2 名
2	7 人	7.6%	学力不足による進路変更 3 名、経済的状況 4 名
3	4 人	4.6%	進路変更 3 名、結婚 1 名
計	17 人	6.8%	

<改善策>

- (1) 担任・チューターによる定期的な個人面談を実施。
- (2) 問題を抱えている学生に対し、専任のカウンセラーと連携対応する。
- (3) 整形外科、スポーツトレーナーの実習体験を 1 年から行いモチベーションを向上させる。

3. H30年度に実施した新たな事業内容の結果と次年度への課題

項目	事業内容	次年度への課題
(1) 基礎医学力向上	骨筋のスタンプリナー実施 解剖額授業を常勤教員が担当	脈管、神経、生理学への展開
(2) 国家試験直前対策講座	非常勤も含めた直前対策 12 時間 (13 日間)	夏期から実施し、早期化を図る

Ⅲ. 教育成果

1. 資格取得状況

資格名	H30 年度		
	受験者	合格者	合格率
(1) 柔道整復師	60 人	56 人	93.3%

<改善策>

- (1) 国家試験の変更に向けて早期対応する。
- (2) 就職内定を 11 月までに終了し、受験のモチベーション上昇につなげる。
- (3) 外部模試受験徹底し、万全の準備で受験を迎える。

2. 進学・進路状況

進学・進路先	H30 年度	
	人数	構成比
(1) 接骨院	56 人	67%
(2) 病院・医院	9 人	10%
(3) 介護施設	7 人	8%
(4) 開業	2 人	2%
(5) 進学	1 人	1%
(5) その他	8 人	9%
計	83 人	-

<課題と改善策>

- (1) 11 月までに就職先（柔道整復系の職業）を内定し、国家資格取得へという体制づくり。
- (2) 2 年次にキャリアアップ講座の実施
- (3) 転職サポート：卒業生に対するキャリアアップのための転職相談実施「卒業しても関健」

3. その他特筆すべき事業成果

- (1) 認定実技審査：認定実技審査 2 年連続 100% 合格
- (2) 柔道部 1 部残留：学校協会主催の柔道大会（37 校参加）で第 8 位、女子（14 校参加）で第 6 位以上